

ボランティア「3つのあい」であいふれあい たすけあい



坂本中学校一年生に着付けの説明をする「文化の配達人」真汐氏

7月11日（火）に、横須賀市立坂本中学校1年生の家庭科の授業で、着物の着付けが行われました。家庭科の先生から、生徒たちに着物を着る体験をさせたいという相談があり、着物を中心とした日本文化を外国人に紹介し、日本文化を楽しんでもらうことを目的に活動をしている、国際交流着物グループ「文化の配達人」に協力を依頼し、今回のボランティアスクールが実現しました。

授業は一クラスずつ行われ、男女別の4、5人のグループに、国際交流着物グループ「文化の配達人」のメンバー

国際交流着物グループ「文化の配達人」



が一人ずつ付く形で進められました。最初は、着る工程の多い着物に四苦八苦していた生徒たちでしたが、ボランティアの方たちの丁寧な指導のもと、分からないときには同じグループのメンバーで助け合いながら、最後は自分たちで帯を結び、着付けを完成させました。

実際に着物の着付けを体験した生徒たちからは、「思ったよりも動きやすかった」「着るのは大変だったけど、かわいいからまた着たい」「思ったより涼しい」などの感想が聞かれました。

この授業を依頼した家庭科の先生からも「生徒たちの表情が、普段の授業と違っていきいきしている」という言葉が聞かれ、着物を着る機会がなかなかない生徒たちにとって、実際に自分たちで着物を着るといった体験は、日本の伝統衣服である着物を身近に感じるいい機会となったようです。



ボランティアセンターが移転しました

ボランティアセンター事務室が総合福祉会館4階から2階に移転しました。4階の活動室、印刷機、貸出棚は今までどおりご利用いただけます。



2階事務室

- ・車いすの貸出
- ・布おもちゃ、布絵本の貸出
- ・コピー機（従来どおりコインラックで精算）
- ・活動室の受付
- ・おもちゃの病院（引き取りのみ）

4階

- ・活動室
- ・印刷機（従来どおりコインラックで精算）
- ・おもちゃの病院



活動室のご利用前、ご利用後は、2階事務室でファイルの受け取りと返却をお願いします。ボランティアセンターが閉所している平日夜間、土日祝日は、今までどおり4階に置いてあります。

新しくなったボランティアセンターでみなさんのお越しをお待ちしています。

「やさしさ広かれ」ふれあいフェスティバル ～輝け！やさしさレインボー！～2023

『輝け！やさしさレインボー！』をスローガンに、やさしさ広かれふれあいフェスティバル2023が6月4日（日）総合福祉会館で開催されました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2、3年度は中止となり、昨年度は規模縮小での開催でしたが、今回は昨年度よりも規模を拡大し37団体が参加しました。フェスティバル当日は、2日前の大雨警報がうそのような夏日となり、多くの方が来場しました。



手話ダンスグループ「ゆらぎ」



フッピー スカリン マルタ



屋外テント



クラフトバイキング体験



ポケットひろば

正面玄関前ステージでは、手話ダンスグループ「ゆらぎ」によるダンスパフォーマンス、バグパイブ演奏、THE☆すかっ子ソーランによるソーラン踊り、補助犬セミナーが行われました。また、屋外テントでは、市内の障害者地域作業所やボランティア、市民団体などが出店し、手作りの品物を販売していました。屋内でもさまざまな体験や展示が行われ、子ども連れの家族、障害のある方、高齢者など、さまざまな方が身近な福祉について学べるお祭りとなりました。（H・Y）

いとはん

みんなの居場所特集②



ボランティアグループ「いとはん」にお邪魔すると、使用済み切手の整理作業をしていました。

立ち上げに関わった方にお話をうかがうと、「精神保健福祉ボランティア養成講座を修了したが、活動場所がなかったため立ち上げた」とのことでした。さらに「コロナ禍で精神科デイケア（精神疾患のために生活のしづらさを抱えている人が、その人らしく地域生活を実現していくためのリハビリテーション）などが休みになる中でも、「いとはん」が居場所になればと思い、活動を続けた」と語っていました。

人とのつながりを作る役目を果たしている「いとはん」には、さまざまな年齢層、障害のある方もない方も集まってきます。作業の途中には、持ち寄ったお菓子をつまみ、世間話に花が咲く場面もありました。



参加者の一人にお話をうかがうと、「コロナ禍でボランティアを探していたところ、そのとき活動していた「いとはん」につながりました。使用済み切手の整理をしている時間が私にとって有意義な時間となっています」と話してくれました。さらに、「程よい距離感が心地よいです」とも話してくれました。

「いとはん」は、毎月第一週の水曜日と第三週の木曜日の13時から総合福祉会館4階の第2活動室で、活動しています。(Y・T)

第13回 福祉の学び ボランティア学習会 デジタル社会とは

7月15日（土）、横須賀市ボランティア連絡協議会主催で「デジタル社会とは」というテーマで、ボランティア学習会が開催されました。

講演会は2つ行われ、一つ目の講演会では、横須賀市経営企画部デジタル・ガバメント推進室の寒川室長から横須賀市のデジタル化への取り組みについて紹介がありました。

特にチャット GPT 導入は各紙メディアで連日取り上げられるくらい反響があり、「何でこんなやり方で仕事をしているの？」を合言葉に、横須賀市ではデジタル化を推進しているそうです。窓口の待ち時間が短縮されるなど、デジタル化により私たちの生活が便利になっています。



横須賀市経営企画部デジタル・ガバメント推進室長 寒川氏



前デジタル大臣 牧島かれん衆議院議員

二つ目の講演では、前デジタル庁大臣の牧島かれん議員が、デジタル化はゴールではなく、使いこなす道具であると提言しました。「誰一人取り残さない、人にやさしいデジタル化」を理念とし、デジタル推進委員（デジタル庁に任命された、デジタル機器やサービスに不慣れな方に対してサポートを行う方たち）のボランティア参加を募りました。マイナンバーカード利用での誤りがあった事案についても丁寧に説明をし、その安全性と有効性を話していました。

出来るようになる楽しさや、年配の方に何度でも教える親切さなど、分かりやすい言葉で話されていたのが印象的でした。

今回の講演会を通して、デジタル社会をみんなで作っていかこうとする姿が感じられました。(A・K)

ボランティアセンターからのお知らせ

ボランティア募集



シーサイドマラソンボランティア

日時 11月19日(日)

6時45分～12時30分

集合 横須賀学院内体育館前

内容 マラソン大会の受付、給水、

誘導員、手荷物係員など

活動に興味のある方はボランティアセンターへお問い合わせください。

イベントのお知らせ

生涯現役フォーラム

日時 11月12日(日) 10時～15時

場所 県立保健福祉大学

内容 シニアの生きがいづくり、健康

づくりをテーマに、講演、セミ

ナー、展示、体験コーナーなど

※今年「わんぱくフェスティバル」と

同時開催となります。

新作布おもちゃのご案内

布おもちゃグループ「ポケット」の新作ができました。お家に持ち帰って遊んでみませんか？



No.272 たなばた

貸出棚のお知らせ

第4活動室の貸出棚の令和4年度後期分の申込を受け付けます。

貸出期間 10月1日(日)

～3月31日(日)

受付期間 9月4日(月)

～9月11日(月)

申込用紙はボランティアセンター窓口、または、ホームページからダウンロードできます。申込多数の場合は、抽選となります。

おうち時間を楽しもう

編集委員Mさんの簡単レシピ

『地元野菜で山形のだし』

瑞々しい地元

野菜が身近な横

須賀市。オクラ

などのネバネバ

素材がポイント

です。刻んでし

まえば和えるだ

けでご飯がもり

もりますむ一品です。



今回使用するコリンキーは、カボ

チャの仲間で刻みやすくシャキシャキ

とした食感。たくさん作って麺類、サ

ラダ、豆腐と一緒にお試しください。

編集委員コラム



ある日、羽を痛めた鳥(体長約25cm)が目の前に落ちてきました。

すぐ茂みに入っていく、それを見て

いた猫がすぐに後を追いかけて行き

ました。先に茂みから出て来たのは

猫で、今度は鳥に追いかけられてい

るのを見て、「なんで？」と思いま

した。その後、その鳥を保護して分

かったのですが、猛禽類(タカ目と

フクロウ目の鳥の総称)で、ミミズ

クではないかと言ったことでした。上

嘴(じょうし・上くちばし)は、湾曲

して鋭く、脚に鋭いかぎ爪がありま

した。この光景は、食物連鎖の一端

だったのかもしれない。私たちの

社会では、「健常者」、「障害者」と

言葉では使っていますが、外見だけ

では分ならず、最近ではカバンに付け

たヘルプマークを目にする機会も増

えました。

平成23年(2011年)8月、障害

者基本法が改正され、障害者を「身

体障害、知的障害、精神障害その他

の心身の機能の障害がある者であっ

て、障害及び社会的障壁により、継

続的に日常生活または、社会生活に

相当な制限を受ける状態にあるも

の」と定義しています。具体的にど

のように範囲を規定しても、障害の